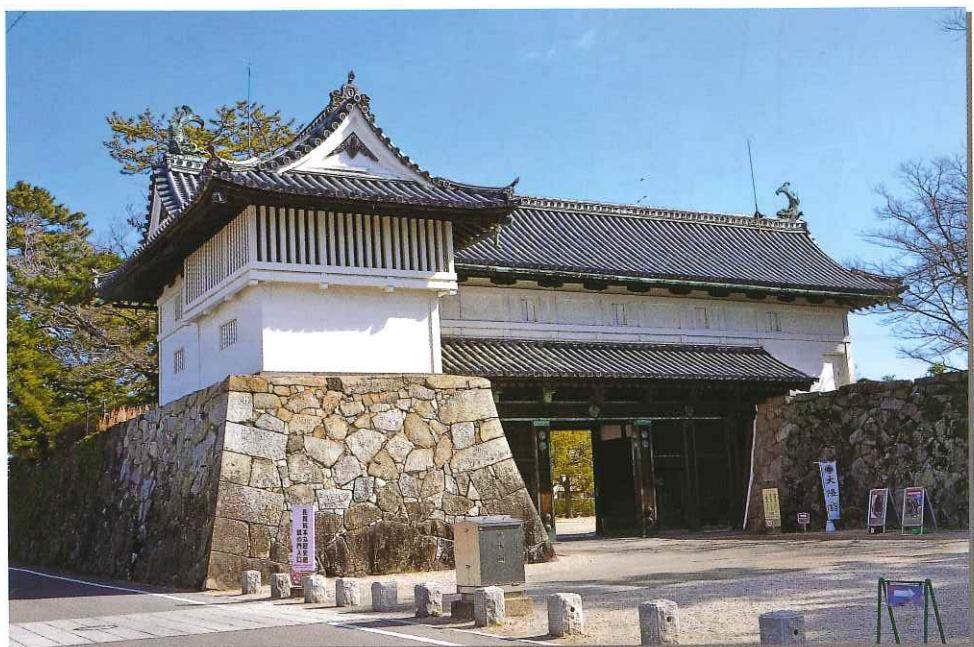
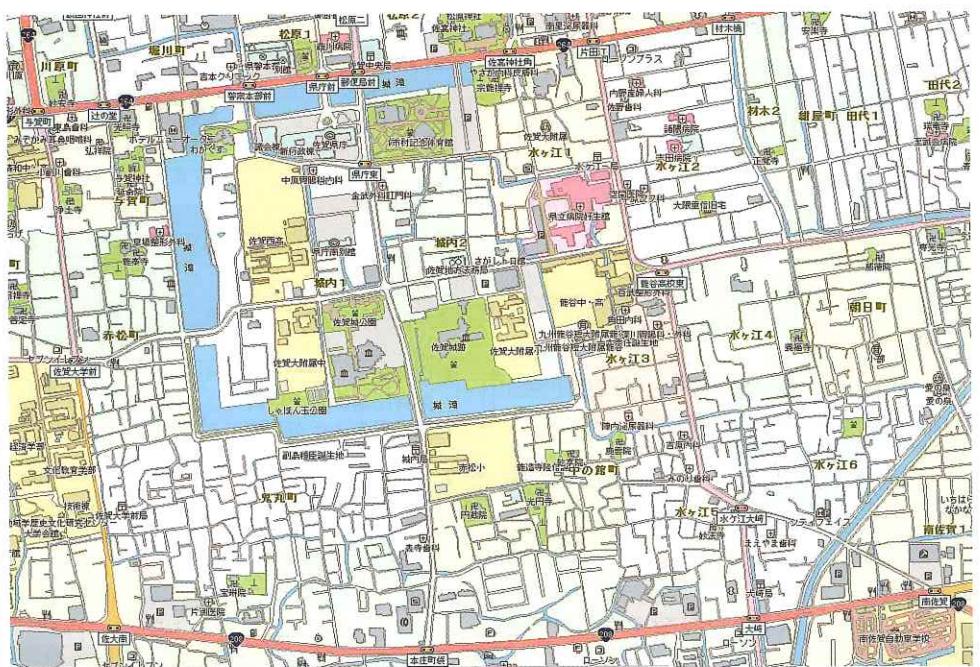


## ガイドマップ

# 佐賀城周辺まち歩き



## 赤松校区

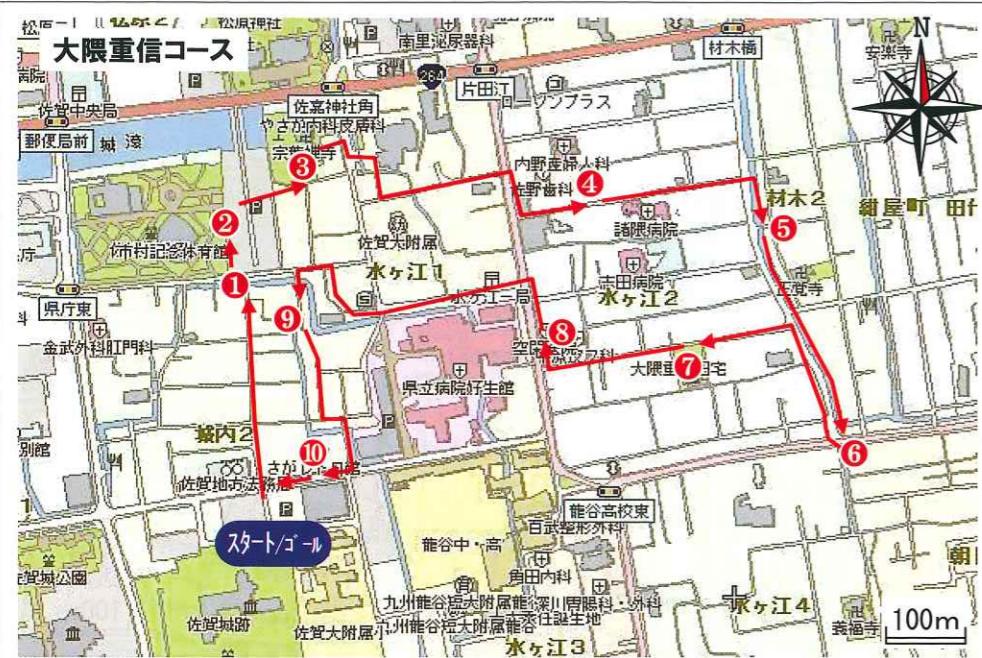


## 佐賀城周辺まち歩き ガイドマップ

令和元年 6月 2版発行

製作・発行 佐賀城周辺地域コミュニティ再生委員会

佐賀市鬼丸町 8-13 (携帯 090-3070-4289 永原)



- ① 東御門跡 → ② 城堀の土手 → ③ 宗龍寺 → ④ 山本常朝生誕地 → ⑤ 横目橋（じりりばし） → ⑥ 了閑橋 → ⑦ 大隈記念館・大隈重信旧宅 → ⑧ 武家屋敷の門（水町家） → ⑨ 万部島（万部塔・六地蔵） → ⑩ さがれと口館

① 東御門跡  
藩政時代、堀に囲まれた佐賀城の出入口の一つがこの付近にあった。



⑥ 了閑橋  
この橋の完成まで、蓮池から佐賀城下に入るには構口への迂回を強いていた。鍋島直之がそれに便宜を図り、ここに橋を架けた。「了閑」は直之の戒名に因んだもの。



② 城堀の土手  
東御門跡から北に行くと、昭和初期まで残っていた東堀の土手が確認できる。



⑦ 大隈記念館・大隈重信旧宅  
明治大正期に2度総理大臣になった政治家であり、東京専門学校（のちの早稲田大学）の創立者でもある大隈重信の生家が保存されている。その横には記念館もある。



③ 宗龍寺  
正式名称は金剛山宗龍禪寺で、佐賀藩祖鍋島直茂が龍造寺隆信公の菩提寺として建立した。佐賀城の鬼門に位置し、城の守護神として崇拝された由緒ある名刹である。



⑧ 武家屋敷の門（水町家）  
この武家門は佐賀藩家の水町氏の屋敷門である。建築年代は不明だが、構造形式から江戸後期のものと推定される。



④ 山本常朝生誕地  
「武士道というは死ぬ事と見付けたり」で有名な「葉隠」の口述者、山本常朝の生誕地。記念碑のみが立っている。



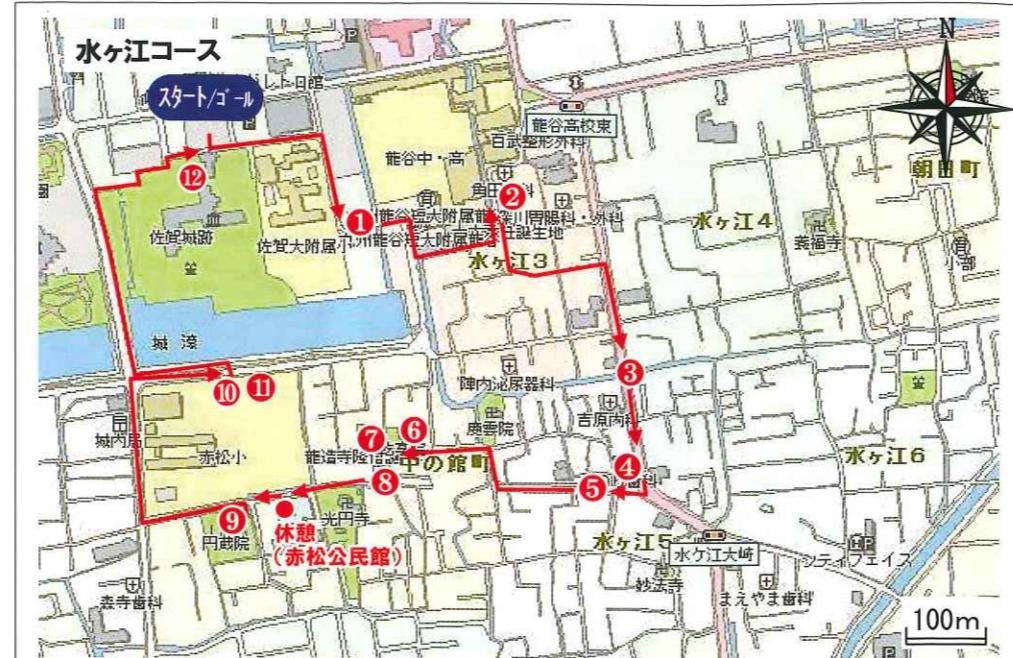
⑨ 万部島（万部塔、六地蔵、佐賀の役記念碑）  
万部島の名称は、法華經一万部読経が行われたことに由来する。佐賀藩歴代藩主による読経の結果願石塔や龍造寺に由来する六地蔵、佐賀の役記念碑などがある。



⑤ 横目橋（じりりばし）  
武家町と町人町の境にかかる橋。対立意識を持つ武士と町人がこの橋を渡る時に出会うと、正視できずには横目でじりりと睨みながら通ったことによると言われている。



⑩ さがれと口館  
スローフード中心のカフェレストラン。建物は明治20年に警察部庁舎として、現在の佐賀県庁本館付近に建築された。昭和11年の警察本部建築に伴い、現在地へ移築している。



- ① 裏御門跡 → ② 大木喬任・遠吉父子記念碑 → ③ 愛右衛門橋 → ④ 龍造寺八幡宮下の宮 → ⑤ 佐賀の馬鉄 → ⑥ 乾亨院 → ⑦ 龍造寺隆信誕生地・胞衣塚 → ⑧ 菊藪橋 → ⑨ 円蔵院 → ⑩ 檜台石垣修築の記石 → ⑪ 副田先生顯彰之碑 → ⑫ 鍋島直正銅像

① 裏御門跡  
藩政時代、船を横に並べて人を渡していたことがある。その船頭にちなんでこの橋の名前が付けられたと言われているが、はつきりしない。



⑦ 龍造寺隆信誕生地・胞衣塚  
16世紀後半、五州二島の太守となった龍造寺隆信の誕生地で、現在は児童公園となっている。園内には大きな石碑とその後ろに胞衣塚がある。



② 大木喬任・遠吉父子記念碑  
大木喬任はこの地に生まれた明治時代の政治家で、文部大臣として教育制度確立に尽力した。遠吉は喬任の子で、明治大正期の政治家である。



⑧ 菊藪橋  
この橋の名は「昔、夜道を通る人の頬にコンニャクがペタッとひつつき悲鳴があがつた」という「乾亨院のコンニャク化け物伝説」による。



③ 愛右衛門橋  
藩政時代、船を横に並べて人を渡していたことがある。その船頭にちなんでこの橋の名前が付けられたと言われているが、はつきりしない。



⑨ 円蔵院  
天文14年（1545）、龍造寺家兼（剛忠）が、戦死した子の家純や孫の周家、純家、頼純、病死した宝琳院豪覚和尚の供養のために建立した。



④ 龍造寺八幡宮下の宮  
昭和60年に、この地に社殿を建築し、白山町に鎮座する本社から分霊を勧請した。



⑩ 檜台石垣修築の記石  
本丸の南西隅にあった檜台が元文3年（1738）に壊され、修築された。その時の記録が石に刻まれている。赤松小学校とともにこの地に移転した。



⑤ 佐賀の馬鉄  
馬鉄とはレール上の客車を馬が引く輸送方法である。明治37年に発足した佐賀馬車鉄道の本社と車庫があった。近くに私設の記念碑もある。



⑪ 副田先生顯彰之碑  
遠足の帰途、筑後川で渡船が転覆。溺れる生徒50人を次々と救助したが最後に力尽き、6名の生徒とともに亡くなった副田先生を顕彰する碑。



⑥ 乾亨院  
永正年中（1504～1521）

龍造寺山城守家兼（剛忠）

が菩提所として開基、天亨

大和尚が開山。佐賀の役で

戦死した官軍兵の墓碑もある。

佐賀藩直正銅像

高さ8.5mの銅像。佐賀藩10代藩主鍋島直正の銅像。官民一体となっての銅像設置活動が実を結んだ。財政の立て直し弘道館教育での人材育成、科学技術革新による軍事力増強など佐賀藩の事業を積極的に推進した。



- ① 南堀石垣修築の記石 → ② 西の丸西限の水路 → ③ 島義勇銅像 → ④ 楠の木おばさんの碑（諫早家の庭園） → ⑤ 本願寺会館（武雄鍋島家）庭園 → ⑥ 北御門跡 → ⑦ 県庁（屋上） → ⑧ 東御門跡の土手 → ⑨ 万部島（万部塔・六地蔵） → ⑩ 好生館跡地の種痘記念碑 → ⑪ さがれと口館

① 南堀石垣修築の記石  
江藤新平ら13人は佐賀の役で戦に敗れ、ここで処刑された。後年、明治天皇のご聖断により賊徒の汚名は消された。これら先人の愛國の魂と情熱を追慕する碑である。

② 西の丸西限の水路  
佐賀城南堀石垣護岸を移設。復元してその構造を紹介している。

③ 島義勇銅像  
他の城であれば大手門と称すべき正門。参勤交代の出発・帰着は常にここから出入りしていた。



④ 楠の木おばさんの碑（諫早家の庭園）  
佐賀大学付属中テニスコートの南西角に位置するところに西の丸角櫓跡があった。

⑤ 本願寺会館（武雄鍋島家）庭園  
しゃばん玉公園の西端に西の丸西端に水路がありお濠に流れている。公園の下は暗渠排水となっている。

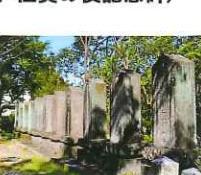
⑥ 北御門跡  
最上階の展望ホールは360度の眺望が開け、天気がいい日には有明海の向こうに雲仙普賢岳を望むこともできる県内有数のビュースポット。



⑦ 県庁（屋上）  
高さ3.5mの立像。幕末維新期に北海道開拓に貢献した島義勇の銅像。10代藩主鍋島直正で蝦夷地調査に旅立つ姿で建立。

⑧ 東御門跡  
この堀の護岸は板木や棒杭だった。その後、傷みが出たため桐木と赤石で再構築された。

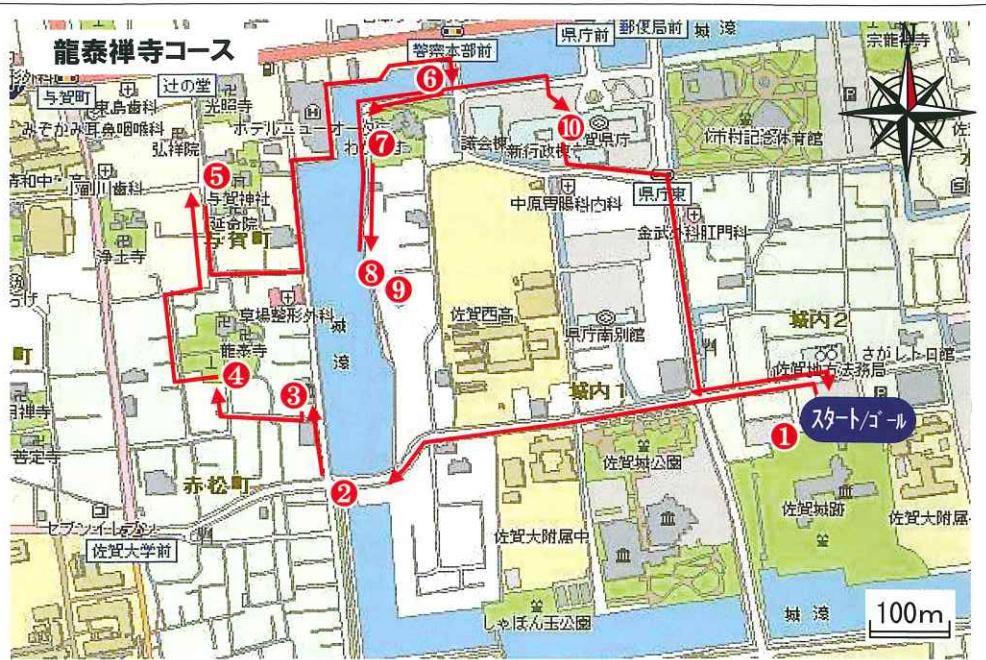
⑨ 万部島（万部塔・六地蔵）  
万部島の名称は、法華經一万部読経が行われたことに由来する。佐賀藩歴代藩主による読経の結果願石塔や龍造寺に由来する六地蔵、佐賀の役記念碑などがある。



⑩ 好生館跡地の種痘記念碑  
1996年県立病院好生館100周年記念記念庭園と種痘の像を移設した。

⑪ さがれと口館  
スローフード中心のカフェレストラン。建物は明治20年に警察部庁舎として、現在の佐賀県庁本館付近に建築された。昭和11年の警察本部建築に伴い、現在地へ移築。





- |          |                         |               |                |                  |        |                  |             |               |          |
|----------|-------------------------|---------------|----------------|------------------|--------|------------------|-------------|---------------|----------|
| ① 鍋島直正銅像 | ② 島義勇の銅像 → 護岸の赤石（西の御門跡） | ③ 吉島家総通ミュージアム | ④ 龍泰禪寺（大隈重信の墓） | ⑤ 与賀神社（楼門・鳥居・石橋） | ⑥ 北御門跡 | ⑦ 本願寺会館（武雄鍋島家）庭園 | ⑧ 楠の木おばさんの碑 | ⑨ 若楠会館（諫早家）庭園 | ⑩ 県庁（屋上） |
|----------|-------------------------|---------------|----------------|------------------|--------|------------------|-------------|---------------|----------|

#### ① 鍋島直正銅像

高さ 8.5mの銅像。佐賀藩10代藩主鍋島直正の銅像。官民一体となっての銅像設置活動が実を結んだ。財政の立て直し弘道館教育での人材育成、科学技術革新による軍事力増強など佐賀藩の事業を積極的に推進した。



#### ② 島義勇の銅像・護岸の赤石（西の御門跡）

高さ 3.5mの立像。幕末維新期に北海道開拓に貢献した島義勇の銅像。10代藩主鍋島直正命で蝦夷地調査に旅立つ姿で建立。



#### ③ 吉島家総通ミュージアム

元禄時代に製作が始まつたとされる鍋島総通（だんつう）は、日本で最も歴史の古い絨毯である。ここは吉島家が開設した展示施設である。



#### ④ 龍泰禪寺

龍造寺隆信が永禄6年（1563）、少弐氏の居館跡に、わが家の菩提寺とするために建立した。大隈重信の墓もここにある。



#### ⑤ 与賀神社（楼門・鳥居・石橋・佐賀恵比須神社）

欽明天皇二十五年（564）に勅願造立された。鍋島氏は佐賀城の鎮守、各代の産土神社として深く尊崇され、数々の寄進をなされている。



#### ⑥ 北御門跡

他の城であれば大手門と称すべき正門。参勤交代の出発・帰着は常にここから出入りしていた。



#### ⑦ 本願寺会館（武雄鍋島家）庭園

佐賀藩の大名であった武雄鍋島家の屋敷の立派な地泉式の回遊庭園が残っている。



#### ⑧ 楠の木おばさんの碑

昭和の戦争の混乱期、この周辺の楠の木は樟脳の材料として切り倒されようとしていた。それを献身的に守った「楠の木おばさん」故福田ヨシさんの記念碑。



#### ⑨ 若楠会館（諫早家）庭園

武雄鍋島家と同じく佐賀藩の大名だった諫早家の立派な地泉式の回遊庭園が残っている。



#### ⑩ 県庁（屋上）

最上階の展望ホールは360度の眺望が開け、天気がいい日には有明海の向こうに雲仙普賢岳を望むこともできる県内有数のビュースポット。



- |            |             |         |            |                 |       |                |      |                  |
|------------|-------------|---------|------------|-----------------|-------|----------------|------|------------------|
| ① 殉国十三烈士の碑 | ② 南堀石垣修築の記石 | ③ お濠のハス | ④ 佐賀城南堀の石垣 | ⑤ 副島種臣誕生地（枝吉家跡） | ⑥ 宝琳院 | ⑦ 西御門跡（島義勇の銅像） | ⑧ 赤石 | ⑨ 多布施川が北流（ホタルの里） |
|------------|-------------|---------|------------|-----------------|-------|----------------|------|------------------|

#### ① 殉国十三烈士の碑

江藤新平ら13人は佐賀の役で戦に敗れ、ここで処刑された。後年、明治天皇のご聖断により賊徒の汚名は消された。これら先人の愛国の魂と情熱を追慕する碑である。



#### ② 南堀石垣修築の記石

佐賀城南堀石垣護岸を移設復元し、その構造を紹介している。



#### ③ お濠のハス

お濠のハスは平成18年に消滅したが、「ハス再生実行委員会」で外来種亀を捕獲。平成22年にハスがよみがえり拡大している。佐賀市の佐賀都市景観賞を受賞した。



#### ④ 佐賀城南堀の石垣

堀には石垣の護岸の石垣があり、佐賀地方の軟弱地盤に対する工夫として基底部に沈没防止の丸太二本を敷き、その上に石垣を築き、さらに最低部の石がせり出すため、角杭で押えている。



#### ⑤ 副島種臣誕生地（枝吉家跡）

明治政府で外務卿を務め、書家としても著名な副島種臣は、文政11年に藩校弘道館教授の枝吉南濠の次男としてこの地に生まれた。その後副島利忠の養子となる。

